

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部工業振興課		■担当係	雇用対策係
■評価事業名称	大学生等インターンシップ強化事業			
■事業開始年度	平成28年度			
■評価事業コード	060100 - 353	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上		
	■施策	01 雇用環境の向上		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	管内事業所に対する理解を深める機会としてインターンシップを積極的に展開し、事業所と大学新卒者のマッチングを支援し、地域経済の活性化を図る。人材確保コーディネーターを1名配置し、大学生向けのインターンシップ受入事業所の掘り起こしと受入プログラムの作成支援を行うとともに、大学生の負担を軽減するため、インターンシップ先までの交通費を支給する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	大学生等インターンシップ強化事業	大学生、企業	①人材確保コーディネーター設置 ②インターンシップ企業開拓、リスト作成 ③UIターン希望者相談 ④インターンシップに係る交通費等の補助	①人材確保コーディネーター1名 ②インターンシップ企業開拓、リスト作成(訪問88、電話24、うち新規エントリー45、辞退37、検討中18) ③UIターン希望者相談 ④インターンシップに係る交通費等の補助 申請件数20件、交付件数17件、支給総額197,320円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費				2,374	
人件費				2,253	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				4,627	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	インターンシップ受入表明事業所数				27	「インターンシップin東北」エントリー事業所数
02	インターンシップ交通費助成件数				17	

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☒ A. 順調
☐ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

受入企業の開拓では、約半数に受入表明をいただくことができた。また、企業の受入プログラム作成を支援するため、大学と連携し説明会を開催することができた。

問題点・課題等

受け入れる余裕がない、体制が整わないという企業の声が複数あった。また、市外本社が管轄しているため市内の営業所・工場など単体では受け入れることができないとの声も多かった。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
☐ 特定されるが多数に及ぶ
☒ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
☒ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☒ ニーズが高まっている
☐ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☒ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
☐ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

大卒者の採用を考える企業にとってインターンシップは企業理解を深める絶好の機会であるため、受入表明企業へのプログラム作成支援及び受入企業の更なる開拓に努める。

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小
☐ IV. 廃止・休止
☐ V. 完了